

会 議 要 旨 録

会 議 名	第3回高齢者福祉計画等策定懇談会
開 催 日 時	平成30年2月15日（木） 10時00分開会
開 催 場 所	蕨市役所 4階 第2委員会室
出席者氏名	濱口会長、金子（雅）委員、釜田委員、田本委員、海野委員、松本委員、 荒井委員、小泉委員
欠席者氏名	榛沢副会長、金子（道）委員、庄委員、辻委員
事務局職員	関部長、岡田室長、野口係長、檜山係長、 ワイズマンコンサルティング 吉元
傍 聴	0名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 高齢者福祉計画・介護保険事業計画案の変更箇所について (資料1～3) (2) その他 4. 閉会
会議資料	資料1 第7期蕨市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（案） 資料2 第7期蕨市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（案）の変更箇所について 資料3 「第7期蕨市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（案）」に対するパブリック・ コメント（意見募集）結果（案）

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
<p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長挨拶</p> <p>3. 議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (1) 高齢者福祉計画・介護保険事業計画案の変更箇所について事務局よりご説明をお願いします。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ (1) について資料を基に説明。 <p>・ 前回の懇談会でも意見がありましたP60紙おむつ支給事業ですが、こういうことを手厚くすることは大事なことです。一度認定されてサービスを受けるとずっと使えるので、少し動けるようになって、サービスがいらぬという人のチェックはどうなのかという意見もありました。また、食事とトイレは命と直結するところなので重要なところ。しかし、要介護4・5の方たちは支援が必要でしょうが、要支援3の方などは少しリハビリをしたり、ポータブルトイレを利用してもらおうと支給が少なくて済むのではないのでしょうか。そういうことによって自立を支援していくことも必要だと思います。金額は大きくないかもしれませんが、住民の動向をみるバロメーターになるかもしれません。</p> <p>他に、ご意見・ご質問がないようでしたら、説明の続きをお願いします。</p>
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域密着型サービスの中で介護予防の施設の計画がないのはどうしてですか。これは全国的なことですか。埼玉県内でそういう取り組みをされているところはありますか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設側は受け入れる準備はしているのですが、例えばP85⑨短期入所療養介護は医療型ということになりますが、短期で使われた場合でも、そのあと介護度が変更されるというケースもあるようです。2017年度の予防での利用は1名だけでした。利用希望も市には上がってきません。どちらかというと、特別養護老人ホームの希望が多く、入所を待っている方はショートステイなどを上手く利用されているようです。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護予防のための住宅改修や福祉用具などは、道具自体が人間の介護の支援なので、予防というかたちで利用すると思いますが、介護予防のため、ショートステイすることはないと思います。医療側は介護予防のためのサービスとしていろいろなプログラムを提供しますが、市民の方々が必要性や効果について認識しないと利用しないと思いま

委員	<p>す。準備している施設サービスについて市民にも知っていただき、支援のための地域の活動と併せて積極的に使っていただきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P 127介護給付費の見込みですが、2018年度の計画は約44億、そして2025年度は約59億円で30%の伸び率です。この伸び率の試算ですが、蕨市の現在の高齢化率は23.6%、それから後期高齢者の割合が45.6%ですが、こういうデータを基に試算されているのですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者人口や認定者数の伸び率などにより利用者数がどのくらいになるかを見える化システムで試算しておりまして、これは先の話なので漠然とした値になるのですが、いまのまま伸びていった場合ということで推計をしたものです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年暮れにいただいた資料に県内61市町村の保険料の状況が説明されています。蕨市は7～8番目に高く、一般の市民は納得しているのでしょうか。蕨市は高齢化率は決して高くないです。また、いきいき百歳体操ですが、近所のマンション2か所でやっています。現在、全市で18か所、今年度は20か所の予定ですが、これをもっと推進していくことが健康維持や介護予防になります。わたしは2年前に参加し、いまは筋トレをやっていますが、いきいき百歳体操をもっと広げるべきです。また、この事業を周知するために出前講座を積極的にPRするべきだと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ いきいき百歳体操の話がでましたが、効果があると感じています。ただ、これを立ち上げるにあたって場所の確保が大変なんです。以前、「いきいきタウン」で借りてやっていたのですが、使えなくなってしまい、「南公民館」に移ったのですが、移るにあたって曜日変更があったりして、行きたいが行けなくなってしまう人もいます。「交流プラザさくら」でもできたらいいと思っていますが、なかなか話が進みません。場所の確保に市も努力していただけたらと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民運営で継続して取り組もうというのを市でも啓発などしていますが、場所がないということはけっこうあります。他のボランティアの方からもお話があるので我々としても公民館のような大きい所だけでなく、小さい会場も含めて情報収集したいと思っていますし、会場や参加者を増やしていきたいと思っています。また、出前講座の話もでてきましたが、介護保険制度は介護予防の取り組みもそうですが、自立支援や重度化防止というところにも力を入れています。そのあたりについて、来年度出前講座を検討しているところです。保険料の話もしたほうがいいというご意見もあるので、内容についても考えていきたいと思っています。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険サービスは介護保険料でまかなうので、税金の投入はできま

	<p>せん。一覧にある各種サービス、また施設等が増えると一人あたりの負担が増えます。県北は高齢者人口が多いですが、県南はサービスが多いと思います。単身や高齢者のみの世帯も多く、バランスを取りながら保険料のほうも考えていきます。そのためには介護予防ということになりますが、2025年度の保険料についてはこのまま進むとこれくらいの給付になりますが、このあたりは介護予防で抑えていきたいと思っています。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・高くなる要因は、施設が増えすぎている、サービスが良くなっていることだと思います。60億円の中には施設の増加も入っていますよね。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・施設を維持するためということではなく、サービスへの給付であります。近隣の施設を利用される方も増えていますので、保険料の見込みにも反映されます。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の負担がありますので、そのバランスということだと思います。介護予防に関して、入浴サービス、運動施設等について、柔軟にやっていくと民間でも受けやすい支援のところがあるかもしれません。この間、テレビでライザップという会社が長野県の介護事業に参入し、地域住民の筋力トレーニングを受けやすい料金でという取り組みを紹介していましたが、これもひとつのアイデアだと思います。蕨市ももともとある資源を使って効率よく介護予防の事業に取り組んでいければいいと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・P4地域包括ケアシステムの充実ですが、介護施設を利用している方の情報と病院を利用している方の情報を繋げる情報ネットワークの仕組みについてはどうなっていますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTということですか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムを利用する際に、病院を利用している方の情報、介護が必要な方のネットワークが上手く使えるようになるとサービスの担い手にも受け手にもいいことだと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・P114（エ）医療・介護関係者の情報の共有の支援というところが対応しているところだと思います。また、ICTのほか来年度から蕨市と戸田市共同で在宅医療・介護関係者間の連携窓口を医師会に委託して、相談や情報提供などに取り組んでいきます。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報などもあり、難しい問題も含まれていますが、医療提供者側が持っている情報を他のサービス提供者側に提供していいものか、また、介護を利用する人が自分の個人情報をどう使われるのか分からないということで擁護してしまう場合もあるかもしれませんが、サービスが充実して自分のためになると思えば、どうぞ使ってくださいとな

事務局	<p>ると思います。こういった情報共有によって、自分の利益を考えていただけるとこういった支援も進んでいくのではないかと思います。実際にサービスをされている医療や介護、福祉の方々はたくさんいるわけですので、上手く連結させて、住民が安心して暮らせる仕組みを考えていけたらと思います。</p> <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none">・ 計画案をご覧いただき、ご意見等ございます場合は、2月末までに事務局までご連絡いただきたいと思います。その後、最終校正等経まして、年度内に印刷・製本を行い、4月にはみなさまのお手元にお届けします。 <p>4. 閉会</p>
-----	---